

6-1 市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実 事業費 6億9,613万円

財源	国のお金		施策実現のための事業費	横手市交流センター費	8,188万円
	県のお金			横手総合交流促進施設費	5,203万円
	市の借金	800万円		地区交流センター費	3億4,513万円
	その他	2,741万円		地域おこし協力隊活用事業	3,840万円
	市のお金	6億6,072万円		その他	1億7,869万円

市民が、主体的にまちづくりの主人公となって、さまざまな課題に対し、みんなで語り合い、助け合い、支え合うことによって、市民主体による特色あるまちづくりが進められていることを目指します

主な事業

- ◆地域おこし協力隊活用事業（秘書広報課分）（1,392万円）
地域おこし協力隊として、外からの目線で「地域の魅力」を各種SNS等を活用しながら発信しています。
- ◆地域おこし協力隊活用事業（横手の魅力営業課分）（660万円）
地域おこし協力隊員として、横手の農産物を活用した商品の磨き上げや地域に人を呼び込む取り組みを進めます。
- ◆地域おこし協力隊活用事業（観光おもてなし課分）（1,188万円）
外部からの目線を持った地域おこし協力隊員が、観光資源の掘り起こしや旅行商品造成に向けた観光資源の磨き上げに取り組みます。
- ◆町内会館等建設補助事業（640万円）
地域住民による自主的・主体的な地域づくり活動を促進し、地域の維持・活性化につなげるため、住民自治活動の拠点となる集会施設の建設や修繕等への補助金を交付します。
- ◆十文字西スポーツ交流センター費（建設）（459万円）
十文字西スポーツ交流センターを、多目的屋内スポーツ施設に改修するための実施設計を行います。

6-2 男女が尊重し合う社会づくり

事業費 106万円

財源	国のお金		施策実現のための事業費	男女共同参画社会推進事業	46万円
	県のお金			ワークライフバランス推進事業	60万円
	市の借金				
	その他				
	市のお金	106万円			

男女が互いを尊重しあいながら、家庭や職場、地域などの中で、一人ひとりが輝き、自分らしく生きられる社会が形成されていることを目指します

主な事業

- ◆男女共同参画社会推進事業（46万円）
男女共同参画行動計画を推進するほか、意識啓発のためのイベントや研修会、女性が活躍できる社会を構築するためのセミナー等を開催します。
- ◆ワークスタイル研修受講支援事業（60万円）
企業や団体の経営者・管理職と従業員それぞれに向けて働き方改革やワークライフバランスなどに関する講演会・研修会を実施します。

6-3 情報を共有する環境の整備

事業費 1億 2,678万円

財源	国のお金		施策実現のための事業費	行政情報発信事業	4,955万円
	県のお金			市政協力員事業	3,465万円
	市の借金			地域情報通信網管理運営費	2,674万円
	その他	1,774万円		コミュニティFM中継局運営費	745万円
	市のお金	1億 904万円		その他	839万円

市民と行政との情報共有が図られ、市政への関心が高まっていることを目指します

主な事業

◆行政情報発信事業 (4,955万円)

生活に役立つ情報を詰め込んだ広報紙「市報よこて」を市内の全世帯に、毎月1回お届けしています。また、1日3回朝昼晩、毎日、横手かまくらFMにて「よこてタウンメッセージ」を放送しています。

6-4 市内外との交流連携の推進

事業費 2億9,876万円

財源	国のお金		施策実現のための事業費	移住定住促進事業	840万円
	県のお金	465万円		ふるさと納税PR事業	2億7,293万円
	市の借金			ふるさと会支援事業	840万円
	その他			奨学金返還支援事業	466万円
	市のお金	2億9,411万円		その他	437万円

市民が自分の住むまちに誇りを持ち、市の内外で活発に交流・連携の取り組みが行われることによって、地域に賑わいや活気が生み出されていることを目指します

主な事業

◆移住定住促進事業 (840万円)

移住検討者への情報発信を行うとともに、一定期間、横手市内での生活体験ができる場所を提供することで、移住への不安を払拭し、後悔のない移住につなげるほか、移住支援金の支給により移住に伴う負担の軽減を図ります。

◆茨城県那珂市との友好都市提携 20周年記念事業 (211万円)

那珂市を会場に両市の発展と今後の繁栄を願う式典を開催予定で、式典への参加とその準備を行います。

◆ふるさと納税PR事業 (2億7,293万円)

ふるさと納税制度を通じて、地域の事業者とともに産業の活性化、横手市の知名度向上、横手ファンの拡大を図ります。

◆奨学金返還支援事業 (466万円)

修学意欲のある学生の奨学金返還に対する経済的不安の低減と、地元への定住や次世代を担う人材確保を推進するため、奨学金返還額の一部を支援します。



7-1 市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進 事業費17億1,256万円

財 源	国のお金	4,821万円	施 策 実 現 の た め の 費	議員人件費	2億1,432万円
	県のお金	5,416万円		庁舎管理費(本庁舎)	2億9,482万円
	市の借金	1億2,100万円		情報システム運用管理費	3億 557万円
	その他	1億4,349万円		ネットワーク管理費	2億4,383万円
	市のお金	13億4,570万円		その他	6億5,402万円

行政評価制度の活用や行政改革の推進などにより、PDCAサイクルに基づいた成果志向の施策や事業が計画、執行され、最少の経費で最大の効果を上げられる、市民満足度の高い行政運営が行われていることを目指します

主な事業

◆本庁舎管理費(建設)(2億 312万円)

市役所本庁舎のすべての照明を LED へ交換することで、脱炭素化を推進し、維持管理コストを低減させます。また、建築後 30 年以上経過した本庁舎を将来にわたって長く使い続けるため、一部の設備機器を更新するとともに、建物・設備の劣化度調査を行います。

◆ICT活用サービス推進事業(338万円)

窓口に行くことなく、ご自宅などから「いつでも」「どこでも」手続きができるよう、行政手のオンライン化を推進します。また、音声テキスト変換 AI システムなどのデジタル技術の活用により、業務の効率化を図ります。

◆個人番号カード等交付事務費(2,737万円)

マイナンバーに関する利活用情報の提供に努め、マイナンバーカードの普及を促進します。

7-2 財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進 事業費115億9,051万円

財 源	国のお金	11億5,000万円	施 策 実 現 の た め の 費	公債償還元金	69億1,168万円
	県のお金	620万円		財政調整基金積立金	3億9,697万円
	市の借金	18億5,470万円		財産経営推進計画実施事業	3億8,521万円
	その他	1億3,465万円		大型公共施設整備事業	29億6,383万円
	市のお金	84億4,496万円		その他	9億3,282万円

限られた経営資源(ヒト(人材)・モノ(施設等)・カネ(財源))を効果的、有効的に活用する継続的に安定した行財政運営が図られていることを目指します

主な事業

◆財産経営推進計画実施事業(3億8,521万円)

人口や財源の減少に対応し、公共施設を適正な規模や機能に再配置することを目的に策定した「横手市財産経営推進計画(FM計画)」に基づき、施設の解体工事を行うほか、次年度以降の解体工事に向けて設計業務を行います。また、令和5年度に改修事業に着手した旧十文字第二小学校については、三重地区交流センター、十文字卓球場、廃止済みの旧十文字体育館の機能を統合するほか、十文字西地区交流センターに設置されている健康の駅南部トレーニングセンター機能を移転することにより、様々な人が集う多目的施設として令和6年秋頃のリニューアルオープンを予定しています。なお、改修後の施設の一部は、よこて市商工会本所と十文字町建設連合組合事務所も使用する方向で協議が行われています。

◆大型公共施設整備事業(29億6,383万円)

令和8年3月の完成を目指して本格化する横手体育館建設工事にかかる事業管理や開館の準備作業とともに、横手市民会館の建て替え整備に向けた設計の見直しや事業調整を行います。

7-3 戦略的・計画的な人材育成と能力開発の充実 事業費77億3,285万円

財 源	国のお金	1,273万円	施 策 実 現 の た め の 事 業 費	人件費	76億2,655万円
	県のお金	1億3,712万円		特別職人件費	7,468万円
	市の借金			職員研修及び厚生費	3,087万円
	その他	8,089万円		その他	75万円
	市のお金	75億 211万円			

職員一人ひとりが、市民（お客様）の立場で考え、柔軟な発想や創意工夫、実践力向上を図り、市民ニーズに対応していることを目指します

主な事業

◆職員研修費（373万円）

市民満足度の高い行政サービスの提供につなげることを目的に、職員一人ひとりの知識や能力を向上させるための職員研修を実施します。

◆厚生費（2,713万円）

職員が心身ともに健康で職務に精励するとともに、家庭生活との両立が実現できるよう、職場健診やストレスチェックを行います。

02 ピックアップ

横手体育館建設工事の状況と今後の予定

横手体育館の建設工事は令和5年11月1日に工事着手となり、本格的な工事に向けた準備作業を行ってきました。令和6年度は、建物の主要な構造部をつくる基礎や柱などの工事に順次着手し、令和8年3月の完成に向けて工事を進めていきます。

【新施設の開館までのスケジュール】

- 令和8年3月 工事完成
- 6月 プレオープン
- 7月 グランドオープン

※現在の横手体育館は、令和8年6月末まで、引き続き利用できます。



内観イメージ / 第1アリーナ(上)、第2アリーナ(下)



【建設工事の状況やお知らせ】

現在、市のホームページで大型公共施設の整備に関するお知らせとともに、建設地の状況を公開しています。工事の進み具合に応じて定期的に情報を更新していきますので、ぜひ、ご覧ください。





**みんなで作ろう！
私たちの横手市**